

平成9年1月5日から

消防団の組織が大きく変わります

消防団は防災・防火組織の核として、地域の安全を担っています。

その消防団も時代背景に合わせ改革が行われてきました。昭和40年には組織の大改革、その後も広域消防の発足などに伴い、団員定数の見直しなどが行われてきました。

しかしここ数年、団員の高齢化に加え、若年層の都市への流失、サラリーマン世帯の増加などにより団員確保は厳しさを増し、組織として大きな曲がり角を迎えています。

こうした状況のなか、団員の確保に努めるとともに、火災はもちろん地震・風水害等自然災害にも即応できる消防団とするため、平成9年1月5日から部隊名も新たに、新体制により活動することになりました。

